



古泉大尉の平市葬

來九日第三小學校に於て

支那事變保定城の攻め取に於て名譽の戦死を遂げた歩兵大尉古泉物哉氏の葬儀は來る九日午後一時第三小學校に於て市葬執行の筈であるが同氏は石城郡草野村に本籍を有するのみで一家悉く他に居住し殿父延隆氏は満州國の大尉で近衛軍曹の當時日露戦役で勲功あり平市に菩提寺（長善寺）を有して深き縁故がある上に親戚もあるところから平市葬に附されるものとなつたが略歴を上れば左記の如く今事變では平市最初の市葬である

打合せ會

平市では目下下期年度豫算の編成中であるが近く各委員會を招集して打合せをなしたる後更に各係當事者との協議に附する筈で全部の取纏めは來二月上旬過ぎと見られてゐるが少なく見て六千万圓に近からうと云はれてゐる尚ほ各係の協議會は左の豫定の由

▲十六日傳染病、十七日水道、十八日土木、十九日學務、二十日警備、

平市軍事後援會寄附

中平窪から百四十七圓五十俵 累計一萬二千七百廿七圓

平市軍事後援會の資金寄附額は一萬圓の豫定に對し現在一萬三千七百二十七圓に達する。戦後の熱誠を見せてゐるが市内各區に募集中であつた最後の中平窪は合計百四十七圓五十錢を融金し最近市役所に採納された寄附者の氏名を上ぐれば次の如くである

- 【中平窪百四十七圓五十錢】
- 十圓づゝ山崎松治、松本金市郎、七圓づゝ福川勝平、同貞義、同長一郎、同藤助、同庄三、同費衛、同勝榮

日刊報シロ日曜祭日誌
日刊報シロ日曜祭日誌
日刊報シロ日曜祭日誌

常識講座

フリー・チェアは自由講座だ、フリーは自由無料、放恣の意でフリー・パスと云へば無賃乗車券、同入場券、フリー・ラッパなら自由戀愛、フリー・バルーンと云へば自由結婚の事

村長改選でもめる

赤井村に仲裁案

村長を縣議の草野三郎氏に 助役には田久彌七氏を

石城郡赤井村は村長の改選で紛糾中であるが政友派の推す田久彌七氏及び自薦候補の元助役芳賀政雄氏に對する民政派候補の猪狩忠人氏及び草野三郎氏の對峙は日曹族議の開議その他種々な途上にある同村の爲め甚だ好ましくなし殊に右新族議並びに工務等の設置に於て内外多事の折柄なので一日も早く選任を擧げて自治の圓滑なる向上進展を計りたいものとなす村議有志が元福島炭礦社長で現村議の菊地徳太郎氏を仲裁に迎ひ諸般の仕事に便宜的肩書をもつ現縣會議員草野三郎氏に村長の席を

新年祝賀の宴

平市長青沼隆太郎氏の招宴新年祝賀の宴會は今七日午後四時から市内住吉岸本店に於て催された

馬耕講習會

石城郡馬耕講習會では役馬利用の爲め來る十日午前十時から上小川村信用組合裏手水田に於て馬耕講習會を開催の筈であるが多数の参加を歓迎する

志賀直哉氏の再選らし

鹿島の満期改選石城郡鹿島村では來る三月の村長改選を控いて後任を取沙汰されてゐるが目下の情勢では結局現村長志賀直哉氏の再選かと見られてゐる

水道鉛管破裂

一日五十個所 郡員の手古舞 平市地方は去る四日から五日夜にかけた暴寒で兩日共に水道の鉛管破裂五十個所以上に伊勢家方で寝たのを雨戸を破

戦地一年頭の御挨拶

の便重ねて健闘を誓ふ 平市出身 高野四郎 謹んで年頭の御挨拶を申述べます、御尊堂御一家の御國を重ねて誓ひます、陣中多幸を遙かに御祝福申上げ、忽ち思ひながら御無音、何

軍刀が曲つて

齒こぼれの奮闘 平市出身 長谷川鐵重 其の傍意外の御無沙汰に打 過ぎて居ります(中略)小生

小名濱助役改選

小名濱町の助役は今一月中に満期改選であるが小野町長の好女房役としては現助役高木保氏を除いて他に求められず再選となるものゝ如くである

同居者の院時計

盗んで検査 石城郡赤井村の福島炭礦會計助手渡邊秀三(三)は昨年十二月下旬の夜元同礦業所々長菊地徳太郎方同居戸田政美所有の院時計一個價十四圓を窃取したことを發覺平署に檢舉さる

モツキリで失敬

石城郡草野村の下神谷字六十枚農園盛(三)は昨年十二月三十一日午後六時半頃泥酔して同郡草野村の中神谷雜貨店佐藤幸平方に立ち寄りモツキリ一杯を引かけてゐる際店主が他の客の釣銭を勝手元に取りに行きたる際乗じて店頭にあつた下駄一足と茶一本を窃取逃走したが問もなく取押られ取調への上書類送局さる

肺病を癒す爲

山間生活 木挽職の迷信に 俸から搜索願ひ 茨城縣多賀郡日立町字宮田仲町一三三七日立製作所職工見代義治の實父寛治(四九)は肺病と云はれたので今から二十年前に家出し山間生活をせば病氣も快癒し従前の如く木挽

羽織を持出す

石城郡草野村の古河炭礦榎木平八四吉田岩清方同居和用川吉方を出る際滑吉實父の羽織を持出したと云ふので取戻方を今七日平署に願出た

種に十圓

脅喝した外住居使 入と脅迫の前科者 石城郡湯本町の町上町無職前科三犯永井七太郎(三)は去る二日午前二時同町内の料理店伊勢家方で寝たのを雨戸を破

辛御許願ひます

〇日〇〇城入城、同月十七日〇〇渡、〇〇江渡河、〇〇〇を越えて〇〇に進軍を續けて居ります、目下は〇〇宿營中です、

も入隊以來元氣にて各地に於ける戦闘にも無事只今〇〇城外〇〇山砲台下に宿營して居ります、馬家宅の激戦にて金成徳太郎様を失ひ、マルトモ主人を失ひまことに残念でありました、然し

職も出来るものとの迷信から山深い生活を續けてゐる模倣であるが香信不通の爲め生死を氣遣ふ前記義治の許は最近多賀と本縣の境界にある一み

高橋便箋
忠孝便箋
文鳥便箋
名作書箋

魁文堂
第三一三

羽織を持出す

石城郡草野村の古河炭礦榎木平八四吉田岩清方同居和用川吉方を出る際滑吉實父の羽織を持出したと云ふので取戻方を今七日平署に願出た

今晩は北西の風、晴(小雨模様)
明日は北西の風、晴(小晴模様)

(小名濱觀測所)

水道鉛管破裂

一日五十個所

郡員の手古舞

平市地方は去る四日から五日夜にかけた暴寒で兩日共に水道の鉛管破裂五十個所以上に伊勢家方で寝たのを雨戸を破

戦地一年頭の御挨拶

の便重ねて健闘を誓ふ

平市出身 高野四郎

謹んで年頭の御挨拶を申述べます、御尊堂御一家の御國を重ねて誓ひます、陣中多幸を遙かに御祝福申上げ、忽ち思ひながら御無音、何

軍刀が曲つて

齒こぼれの奮闘

平市出身 長谷川鐵重

其の傍意外の御無沙汰に打 過ぎて居ります(中略)小生

小名濱助役改選

小名濱町の助役は今一月中に満期改選であるが小野町長の好女房役としては現助役高木保氏を除いて他に求められず再選となるものゝ如くである

馬耕講習會

石城郡馬耕講習會では役馬利用の爲め來る十日午前十時から上小川村信用組合裏手水田に於て馬耕講習會を開催の筈であるが多数の参加を歓迎する

志賀直哉氏の再選らし

鹿島の満期改選石城郡鹿島村では來る三月の村長改選を控いて後任を取沙汰されてゐるが目下の情勢では結局現村長志賀直哉氏の再選かと見られてゐる

農業

農村戦時対策 自肥増殖(二)

▲紫雲英その他緑肥につき
極力自家採種を行ひ明年作
付緑肥の増殖に努むること
▲本年春播大豆の増殖を計
るため系統農會の斡旋によ
り種子の共同購入を行ふこ
と等が必要である、
金肥は無駄使ひを顧して作
物の種類、土質、氣候等に
じて適當に使用することが肝
要である、今日金肥供給の實
情は硫安が、約二十萬トン不
足、石灰窒素は未だ國內産の
餘力があり、過燐酸石灰は年
百五、六十萬トンの消費に對
し約八割は輸入、硫酸加里、鹽
化加里は殆んど獨、佛、米國
から輸入、大豆粕は滿州から
約三、四十萬トンの輸入、魚
肥は大體國內産で間に合ひ菜
種油粕、綿油粕は殆んど支
那から輸入してゐたる關係で
杜絶してゐる状態、
これに對して何を多く、何
を少なく使用したかによらし
いかと云ふやうなことは一
概に云ひ切れることは困難で
あるが大體次の點に注意す
べきである、
即ち石灰窒素はそのまゝ使
へば毒分を含んでゐるので
使用分量と時期とを充分考
へて使ふこと
▲過燐酸石灰は從來他の金
肥に比し割安であつたため
農家は必要以上に無駄使ひ
する癖があつたが少なく
使ふと云ふ氣持ちで施肥す
ること、

專 門 皮 膚 科
性 泌 尿 器 科
病 科 科
時 間 午 前 八 時 以 前
午 後 九 時 以 後
醫 學 博 士 江 尻 伊 三 郎
平 市 田 町 電 話 六 九 一 番
看 護 婦 至 急 入 用

次 三 次
店 商 山 横
債 券 部
町 間 仲 市 平
〇 一 六 〇 九 京 東 替 振
番 一 七 二 話 電

便利で 經濟な 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから
何をお任せしても安心です
會員(同志)の
御加入を御誘
ひ致します
派出なき間
暇に裁縫や
編物を御教
授致します
◎ 日下家政婦會
會長 日下すい子
電話 七二三番
平市田町十八(西村屋敷町)

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

お醤油は ヤマフル
醤油 味噌
たひら正宗
鯨節食料品
山崎合名會社
電話 一 營業部 二一〇番
本 店 二七〇番
山崎與三郎
平市山崎町

幸福の父
健康の母たらんには
召し給へ！
機那サフラン酒は
子寶を得て易し。
定價 二圓五分
平市五丁目角 山野邊藥局
機那サフラン酒

年末、年始の御進物には
贈つて便利！
受けて重寶
ツルヤの商品券を
その他、防寒洋品
化粧品、箱入豊富
ツルヤ
平四・第一四〇

平病院 (平市元共濟病院跡)
電話 六四一 番
院長 醫學博士 鈴木定藏
內科 部長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾安司
一般外科 部長 高橋俊幸
皮膚泌尿器科 部長 鈴木定藏
物理療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 鈴木定藏
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の
限にあらす)

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦を特設いたし
皆様の御用向へ身元確實なる婦人を
派出致します
平市南町 平看護婦會
電話 三〇七
會長 清野キヨ
御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭

平看護婦會
電話 三〇七
會長 清野キヨ
御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭